

不審者対策避難訓練実施計画案

5 / 8 16:00～確認（実際にシュミレーションを行います。）

令和5年4月
防災教育担当

1 ねらい

- 不審者が学校に進入し、児童の生命に関わる不審な行動をとったとき、児童が安全かつ迅速に行動し、避難することができるように、避難の仕方や約束事を確かめる訓練を行う。
- 声かけ事案等に対する防犯意識を高めるとともに、具体的な方法について知る。

2 日時

- 5月12日（金）2校時（9:10～9:55）※ 雨天時は体育館へ避難
【事前指導】9:10～9:20（10分）
【避難訓練】9:20～9:55（35分）

3 場面想定

- 授業中に体育館連絡通路より不審者が侵入。不審者は、職員の声かけに応じず、不審な行動をとり続け、校内を移動する。
※ 今回は、不審者役は警察の方が行うが、侵入演技は行わない。あくまでも緊急場面を想定して行う。

4 一次避難場所

- 運動場（6 実施過程参照）

本校には、さすがに各階の教材室にある。（計3本）

5 事前指導の内容 ※ 全学級、発見者の学級と発見者以外の学級の指導を行う。

指導内容		留意事項等
【全学級】 ① 今回の訓練の意義を知らせる。 ② 今回の侵入現場と避難経路を確認する。 ・ 不審者の役は <u>警察官</u> であることを知らせる。		○ 避難経路と注意事項を確認させる。 ○ 「お・は・し・も」が徹底するように指導する。 ○ 児童に鍵を閉めるよう指示をする。
【発見者の学級】 ③ 児童の動きを確認する。 担任が不審者を見つけたら教室の鍵を閉め、騒がずに教師の指示に従うこと。 ・ 1人の児童はベランダを通過して、隣の教室に移動し不審者のことを知らせ、移動先の教室で待機する（その後、この児童は移動先の教室の児童と一緒に行動する。運動場に出たら自分のクラスの集合場所に行く。）	【発見者以外の学級】 ③ 児童の動きを確認する。 教師の指示に従い、鍵をかけたベランダ側に固まって待機する。 ※ <u>発見者の学級の近くの教室は、連絡児童を受け入れるためベランダの鍵をあける。また、避難してきた児童が入るスペースを作る。</u>	

<p>【全学級】</p> <p>④ 不審者が確保できるまで、教室からは出ない。</p> <p>⑤ 不審者確保後、放送に従って運動場に避難。</p> <p>⑥ 避難する際、「お・は・し・も」のきまりを守る。 ・押さない、走らない、しゃべらない、戻らない。</p> <p>⑦ 出口付近では、特に安全に気をつけて慌てずに順番に避難する。</p> <p>⑧ 運動場では、整列して静かに2列（下学年）4列（上学年）で座って待つ。</p>	
--	--

6 全体の流れ（9：10～9：55）

時間 放送・ 担当	指導内容及び児童の活動	留意点 (〇〇先生・・・不審者の連絡を受けた先生)	
9:10～ 9:20 9:22	<p>1 事前指導（上記）</p> <p>2 ○年○組教室付近に不審者侵入事由発生</p> <p>○ 教室付近を徘徊している不審者に声をかける。</p> <p>○ 第一発見者は、児童に指示を与え、不審者の対応にあたる。<u>現場の学級児童はベランダから隣室へ移動し不審者の連絡をする。</u></p> <p>(児童の動き)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 隣室への連絡と施錠。 ・ 指示があるまで静かに待つ。 	<p>○ 第一発見者は、不審者が学校を徘徊しているのを発見する。第一発見者は、不審者役の警察官に「どちらに御用ですか。」「事務室をとおされましたか。」などの質問をする。</p> <p>○ 第一発見者は、児童に以下の指示を与える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 隣室へ不審者の連絡 ・ 教室の鍵を閉める <p>○ 現場の学級児童から連絡を受けた先生は、すぐに事務室に携帯で連絡をする。また、施錠の指示をする。</p> <p>※ 〇〇先生は、携帯電話で常に状況を報告する。電話は切らないでおく。</p>	<p>※ バインダー所持</p> <p>※ 手が届く距離には行かない。</p> <p>※ 不審者の正面から話しかける。</p> <p>※ 見失わない。</p> <p>○ 連絡を受けた事務室は校長先生と職員室の職員へ連絡をする。</p>
9:27 <u>校長先生</u>	<p>3 緊急放送</p> <p>「訓練・訓練、これよりSG対応に入ります。男性職員は〇〇付近へ向かって下さい。」</p> <p>※ 2回繰り返す。</p>	<p>○ 緊急放送が聞こえたら、他のクラスの学級担任は、不審者の侵入を防ぐために以下のことを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教室を施錠する。(戸、窓) 	<p>○ 校長先生は直ちに緊急の放送を入れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 男性職員は防具を持って現場に急行する。

		<ul style="list-style-type: none"> ○ 「お・は・し・も」のうち、「走らない」に特に留意させ、静かにゆっくり避難させる。 ○ 運動場の南側に、来た順に学年ごとに固まって並ばせる（各クラス2列か4列）。 ○ 学級担任は児童数を確認し、学担→学年主任、→校長先生に報告する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>不審者対応にあたった男性職員</u>は、警察へ不審者を引き渡した後、運動場へ向かう。
<p>運動場での並び方 (話を聞くときは、太陽がまぶしいため校舎側を向かせる。)</p>			
9:40～ 防災教育担当	<p>8 全体指導 ※雨天時体育館</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 校長先生のお話 ○ 警察官のお話 		
9:50～	<p>9 教室に移動し、今日の訓練を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教室へ戻るときは、避難してきた経路を逆に戻る。 ○ 事前指導の通りに行動できたか、確認して、ふりかえりをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保体部は、シューズの裏を拭くぞうきんの準備をしておく。

訓練までにすること

- ☆ 職員は名札に笛をつけておく。
- ☆ 教室の鍵・さすまたの場所・消火器の場所・拡声器の電池を確認！
- ☆ 携帯に門小の電話番号を登録。
- ☆ 児童とSG対応の確認。SG対応と放送があったら教室の鍵をかけて待つ。

～共通理解事項～

名札・・・校舎へ立ち入る場合は名札の着用を徹底する。保護者への周知もする。忘れ物を保護者が持ってくる場合も事務室へ受付をしてから持ってくるようにする。受付をしていない方に積極的に「受付はすまされましたか。」と尋ねることが大事。職員も笛付きの名札を着用するようにする。

不審者対応・・・身の安全のために1m～1.5mの距離をとる。複数人で対応する。凶器などを持っていないか観察し、近づかない。刃物を持っている場合は「刃物を持っている！！」と周囲に大声で知らせる。別室（校長室や放送室）に案内し、隔離するよう試みる。犯人の要求「〇〇を出せ！」などがあつたら、実際に探さなくても「探してみますね。」などと言って興奮させないようにする。

※夏の不審者対応研修で確認する。

SG対応・・・student guardの略。不審者を刺激しないようにSG対応と言う。

内線の使い方・・・受話器を取って、事務室や職員室のボタンを押せば内線が繋がる。どの職員も使えるようにしておく。

さすまた・・・すぐに取り出せるようにしておく。各階の教材室にある。整理整頓する。刃物を持っている場合はさすまたでたたく勢いで向かうとよい。さすまたは一つではなく複数で対応する。袈裟固めで斜めに押さえるようにする。さすまたの代わりに、消火器や椅子をなげたりして児童を守る。

◎ なにかあつたら、110番を真っ先に！携帯電話だと位置情報が県警に伝わるのでよい。

警察署から門小に警察官が駆けつけるのは5～7分かかる。R4の訓練では、通報から**15分後**に警察官が到着した。それまでは職員で対応する必要がある。